

## NCTU Summer Program (1019/7/11-8/9)

### はじめに

私は4年生の7月11日から8月9日の間、台湾国立交通大学で4週間のサマープログラムに参加しました。私は早めに就職活動がおわり、卒業要件の単位もほとんど取り終わっていたため、せつかくのこの機会を有効に使いたいと思い千葉大学の授業期間中に開かれるサマープログラムに参加することを決意しました。私は2年生の冬休みに1か月イギリスに語学留学をしたことがあったのですが、語学留学だと単なる英語の練習ばかりでほかのことがあまり学べずかつ、ルームメイト以外の友人が作れなかったという苦い経験があったため、英語で何かを学べ、同じレベルの大学生と大学キャンパスで生活できるプログラムに参加したいという思いからこのプログラムを選択しました。

プログラム参加者は約20人で、シンガポール、中国、香港・マカオ、フランス、日本の順で参加者が多く、日本人は私ひとりで、ルームメイトはフランス人でした。ほとんどの参加者は大学キャンパス内の寮で生活します。キャンパスは体感千葉大学の4倍くらいの大きさで、食堂、コンビニ、フィットネスジム、スイミングプール、体育館などほとんどすべてが大学内でそろっていました。食事は各自大学内の食堂でとります。4個ほどの食堂がありそれぞれに3つほどのお店があるのでかなりバラエティ豊富な食事がとれます。おいしくボリューム満点のうえにとっても安く（一品大体200円～380円以内）全く飽きませんでした。

授業は月曜日から水曜日の週3日で、木曜は Cultural Trip といって台湾の観光スポットへ連れて行ってもらいました。金・土・日は旅行に行ったり、勉強したり、遊んだりなど自由に時間を使えます。

以下、授業、放課後、週末にわけて詳しく説明します。

### 授業

留学生向けのプログラムで、すべて英語で行われます。月・火・水の週3日、午前3時間、午後3時間授業を受けます。午前のクラスは2つ、午後のクラスは3つの選択肢がありましたが、私は午前のクラスは経営、午後のクラスは児童言語の授業をとりました。

午前の経営の授業は13人くらいの授業で、動画を見てディスカッションしたり、ゲームをしたりなどアクティブな授業でした。英語での発言が求められるので英語をあまり話すことに慣れていない私にとってはかなりつらかったのですが周りもそんなにペラペラ話せるわけではないので、気後れせず発言することができたのでかなり良い英語の練習になったと思います。最終日の授業にグループでビジネスプランの発表を課されていたので、放課後や週末にグループ4人ほどで作業したりなどもしました。

午後の児童言語のクラスは生徒6人で、パソコンが一人一台貸与され、授業中に動画を見てワークシートを作成したり、グループでパワーポイントを作成したり、ディスカッシ

ョンしたりなど、経営の授業よりかなり積極的な参加が求められる授業でした。PBL というスタイルの授業らしく、初めてだったので最初は戸惑いましたが慣れるととても楽しかったです。先生がとても親切で、的外れな答えを言ってもフォローしてくれたので緊張せずに発言できました。中間試験、エッセイ3本、帰国後全授業内容をまとめた30枚ほどのポートフォリオなどかなりの勉強量が要求されましたが、自分の興味のある分野ということもあり、それほど苦痛に感じることなく、こなすことができました。今まで受けてきた授業の中で最も刺激的で楽しい授業だったと思います。

## 放課後

大学キャンパス内にフィットネスジム、スイミングプール、体育館、食堂などすべてが揃っているので私は放課後のほとんどは大学内で過ごしていました。現地の大学生とバドミントンをしたり、友達とカードゲームをしたり、スイミングプールに行ったり、パソコンで映画を見たり、食事をしたりなど様々な娯楽を楽しみました。特に、私はバドミントンにはまり、プログラム中に6回ほどバドミントンをして遊びました。台湾にはバドミントンが好きな人が多く、コート5面を備えたバドミントン専用の体育館があり、学生ならば誰でもそこで遊ぶことができます。

たまに友達と大学近くのナイトマーケットに行き、夕食を食べるなどしました。とても安くおいしいのでおすすめです。

## 週末

週末は自由に過ごすことができるので、私は大学のある新竹市はもちろん、台北、台中に行きました。ほかの参加者には宿をとって泊まりで旅行をする人もいましたが、私は金銭的な面を考え、すべて日帰り旅行をしました。

台北へはバスに乗り1時間ほどで行くことができ、地下鉄が発達しているので回りやすかったです。台北は3回ほど行きました。九龍寺、台北101、西門街、夜市などの有名スポットはもちろん動物園などにも行くことができました。

台中はバスに乗り1時間30分ほどで行くことができます。台中の交通はあまり発達しておらず、公共機関だけの観光は難しいのですが、現地の学生に車で案内してもらえたおかげで有名スポットをすべて回ることができました。

旅行に行かない日は宿題に取り組んだり、大学内のスイミングプールに行ったり映画を見たりなどして過ごしていました。一日たりとも充実しない日はなく、とても充実した週末を過ごせました。

## 最後に

私はそれほど英語をうまく話せるわけでもなく日本人一人だけだったので、最初1週間は言いたいことが言えずストレスを感じていました。そのせいか風邪をひいてしまうなどのアクシデントに見舞われたこともあります…。しかし心置きなく話せる友だちが何人かできたおかげで、つたないながらもたくさん英語を話し、友人や先生に英語うまいよと褒

められるようになり、最後には英語で友だちを笑わせているまでになっていました。ここでできた友人は本当に親切でフレンドリーで面白くてかけがえのない宝物です。いつかまた会う約束もしました。

また、ほかの国の人と話すことで、文化の違いだけではなく、日本がどう思われているかなど知ることができ貴重な経験だったと思います。つらいこともあったのですが、楽しいことのほうが多く、このプログラムに参加するという決断は正しかったと今になって思います。一番の収穫は就職後海外に出て働きたいという目標ができたことです。もし留学に行くかどうか迷っている方がいたら、1か月だけでもいいので留学に参加することをお勧めします。人生を変える大きな転換点となるかもしれません。









